

授業概要

本講義では、主に経営戦略とマーケティングの視点から日本企業の成長のプロセス、現状と問題点・課題について明らかにすることにより、日本企業ならではの経営方法、すなわち日本経営論について、その姿を講義する。講義においては、アメリカ等海外企業の事例なども適宜用いることにより、日本企業の特徴を明確にすることを留意しながら講義する。

授業計画

第 1 回	日本的経営とは何かを明らかにする。
第 2 回	日本企業の経営戦略の特徴を明らかにする。
第 3 回	日本企業のドメインについて明らかにする。
第 4 回	ポーターの 5 つの競争要因から日本の産業の特徴について理解する。
第 5 回	ポーターの 3 つの基本戦略から日本企業の経営戦略の現状を理解する。
第 6 回	ポーターのバリューチェーン（価値連鎖）から日本企業の事業システムについて理解する。
第 7 回	資源ベース・アプローチから日本企業の能力について明らかにする。
第 8 回	学習アプローチから日本企業の能力構築プロセスについて明らかにする。
第 9 回	SWOT 分析から日本企業の戦略構築について明らかにする。
第 10 回	アンゾフの成長マトリクスから日本企業の成長戦略について理解する。
第 11 回	日本企業の市場地位ごとの経営戦略について理解する。
第 12 回	製品ライフサイクルから日本企業の製品の販売時期に応じた戦略策定について理解する。
第 13 回	PPM から日本企業の全社戦略について理解する。
第 14 回	ブルーオーシャン戦略から日本企業の新事業創造戦略について理解する。
第 15 回	日本企業における全社戦略と競争戦略の関連性について理解する。
第 16 回	期末試験

到達目標

- ・豊かな人間性を備えた企業人・社会人になるための日本企業の経営に関する知識を身につけ、他者への理解力、共存・共創する能力を構築すること。
- ・日本企業経営と経営戦略・マーケティングに関する基礎・応用的な知識を習得し、経済のグローバル化と知識基盤社会における地域経済の活性化に貢献できる能力を構築すること。

履修上の注意

- ・4年生の就職活動による欠席は3回まで考慮する。3回以上は考慮しない。必ず証明できるものを提示すること。
- ・コロナウイルスり患、濃厚接触による欠席は後日証明できるものを提示すること。提示なき場合は考慮しない。
- ・私語、居眠り、遅刻は減点する。頻繁な途中退室は減点する。
- ・授業や講師についてのクレームはメールではなく必ず対面で伝えること。メールでのクレームには一切対応しない。

予習・復習

予習：シラバスを見たうえで、各トピックに関する書籍を読み、自分なりに問題点を整理すること。
 復習：講義中配布したプリントを読み込んでおくこと。講義に関わるニュースなどを調べ、理論と実態のつながりを自分なりに考えること。

評価方法

- ・小テスト 75点（1回5点×15回）
- ・期末試験 25点（持ち込み不可）

テキスト

使用しない。